

平成30年2月26日

各報道機関 御中

山梨大学

平成29年度山梨大学COC事業「地(知)の拠点整備事業」  
成果報告会の開催について(お知らせ)

山梨大学COC事業「地(知)の拠点整備事業」では、山梨県の基幹産業の一つである農業分野の衰退に歯止めをかけ、自然と一体となった新たな里づくりを行うという課題の解決に向けて、全学的に取り組んでいます。

本報告会では、地域から頂いた課題を研究テーマとして取り組む「地方創生支援教育研究プロジェクト」の採択者がその成果を発表いたします。また、地域産業に直結し、山梨県との連携を重視した「地域振興研究プロジェクト」の一部を発表します。

つきましては、本事業を多くの方に知っていただくため、イベント情報欄等でご紹介いただくとともに、当日、取材をしていただきたく、下記の通りご案内いたします。

詳細は別紙チラシをご覧ください。

記

日時：平成30年3月19日(月)13:30~15:30

会場：山梨大学甲府東キャンパス 工業会館3階アクティブラーニング室(甲府市武田4-3-11)

申込方法等：参加費無料、どなたでも参加できます

当日参加も可能ですが、なるべく事前に必要事項(氏名、所属・役職、電話番号)を記入の上、FAXまたはメールにて申込み願います。(申込期限3月12日)

申込先：山梨大学地域未来創造センターCOC部門(TEL 055-220-8130)

FAX:055-220-8702、メール: coc-event@yamanashi.ac.jp

申込者の個人情報は本報告会開催に関してのみを利用目的とし、当事務局にて適切に管理させていただきます。

<問合せ先>

山梨大学 地域未来創造センター COC 部門  
TEL : 055-220-8130 FAX : 055-220-8702  
E-mail : coc-event@yamanashi.ac.jp

<広報担当>

山梨大学総務部総務課広報企画室  
TEL : 055-220-8006  
E-mail : koho@yamanashi.ac.jp FAX : 055-220-8799

# 平成29年度 山梨大学COC事業成果報告会

山梨大学のCOC事業※<sup>1</sup>では、山梨県の基幹産業の一つである農業分野の衰退に歯止めをかけ、自然と一体となった新たな里づくりを行うという課題の解決に向けて、全学的に取り組んでいます。

本報告会では、地域から頂いた課題を研究テーマとして取り組む「地方創生支援教育研究プロジェクト」の採択者がその成果を発表いたします。

併せて、地域産業に直結し、山梨県との連携を重視した「地域振興研究プロジェクト」の一部を発表します。

2018年 **3月19日** 月

13:30～15:30  
(開場13:00)

会場 / 山梨大学甲府東キャンパス 工業会館3階 アクティブラーニング室

参加無料

申込締切  
3/12(月)

※<sup>1</sup> COC事業とは、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とする事業です。

## プログラム

13:30～ **主催者挨拶** 島田 眞路 学長

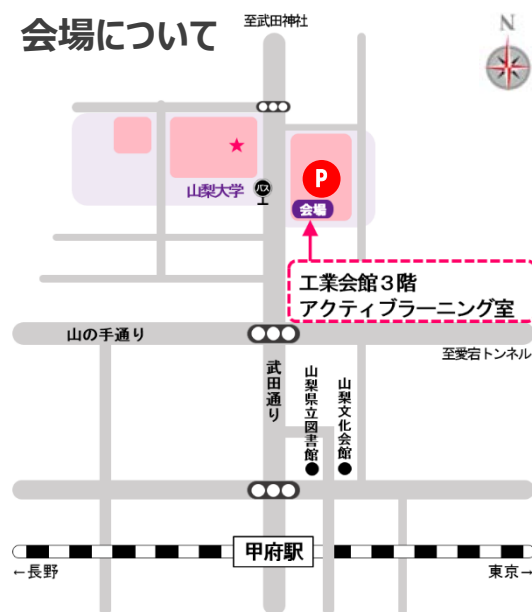
13:35～ **平成29年度事業報告**  
「山梨大学COC事業の取組み」  
地域未来創造センター 郷 健太郎 COC部門長

——(休憩13:55～14:00)——

14:00～ **COC事業等成果報告**  
地方創生支援教育研究プロジェクトの発表(12件)  
地域振興研究プロジェクトの発表(2件)  
※プロジェクト一覧は裏面をご覧ください。

15:25～ **閉会挨拶** 早川 正幸 理事

## 会場について



※お車でお越しの際は、総合案内所(★)でパスカードを取得し、工学部駐車場(P)をご利用ください。

主催 / 山梨大学地域未来創造センターCOC部門

後援 / 山梨県、甲府市、山梨市、南アルプス市、北杜市、中央市、

山梨県ワイン酒造組合、甲府商工会議所、山梨中央銀行、甲府信用金庫、山梨信用金庫



www.coc.yamanashi.ac.jp

# 発表プロジェクト

## 地方創生支援教育研究プロジェクト

区分	プロジェクト名称	研究代表者
1	甲府の街活性化に寄与するスパークリングワインの研究開発	柳田 藤寿 (生命環境学域)
2	山梨県産の桑の葉茶の安全性・有効性に関する研究	望月 和樹 (生命環境学域)
3	野菜中アミノ酸含量に及ぼす土壤微生物の影響	片岡 良太 (生命環境学域)
4	果樹園での安心・安全な運搬作業を支援するロボットビークルの開発	野田 善之 (工学域)
5	アガロースカプセルを用いた透明帯を欠損した卵子の有効利用について	長友 啓明 (総合分析実験センター)
6	農村資源を活かした回遊性・滞在性の高いアグリツーリズムの検討 - 鳴沢村及び山梨市における学生参加型プロジェクトの実践と県外先進地域との比較研究を通じて -	菊地 淑人 (生命環境学域)
7	農業・森林資源の保全への支払制度導入による県民所得向上の計測： ブドウのプレミアム価値と水源林の経済的価値の利用による地域経済発展の可能性	渡邊 幹彦 (生命環境学域)
8	地域と大学が連携した着地型観光の企画・実践手法の開発と展開	大山 勲 (生命環境学域)
9	地域獣害対策のための新たな地域-産学連携に基づく野生生物の棲息調査研究	馬籠 純 (生命環境学域)
10	直感的インタフェースを持つ織物デザインシステムによる新規製品の創発支援	豊浦 正広 (工学域)
11	地域経済分析システムを活用した市民レベルの地方創生支援と人材育成	秦 康範 (工学域)
12	ICTを活用した過疎地における複合的医療体制モデル事業	山城 巨央 (医学域)

地方創生支援教育研究プロジェクトとは、地域の課題を収集し、食の地域ブランド化、次世代農業創出、美しい里づくり、地域連携の4分野で、学内の実践的な教育研究の推進と、得られた成果（知）を山梨県に移転することを目的とするプロジェクトです。

## 地域振興研究プロジェクト

区分	プロジェクト名称	研究代表者
A	ゆずの絞りかすを有効活用した植物由来接着剤の開発	森長 久豊 (教育学域)
B	技術伝承のための作業記録の作成・閲覧支援システムの開発	西崎 博光 (工学域)

地域振興研究プロジェクトとは、地場産業振興に直結したクリスタル（結晶材料）科学、ワイン科学や山梨県健康増進計画に基づく健康長寿社会構築に貢献する研究、また山梨県との連携の下、燃料電池、地熱、地中熱利用等のクリーンエネルギー基盤技術、安全な食物生産、地域防災及び学校教育に関する研究を推進し、それらの共通基盤技術となる情報解析に関する研究を展開し、その成果を地域に還元することを目的とするプロジェクトです。

### ■ お申し込み方法 ■

参加をご希望の方は、下記に必要事項をご記入のうえ、3月12日(月)までにFAXまたはメールにてお申し込みください。  
(当日参加も受け付けますが、できるだけ事前のお申し込みをお願いいたします)。

FAX : **055-220-8702**      メール : [coc-event@yamanashi.ac.jp](mailto:coc-event@yamanashi.ac.jp)

※メールの場合は、タイトルを「3月19日 成果報告会申込み」としてください。

お申し込み 代表者氏名		所属・役職 (又は住所)	
TEL		E-mail	
氏名		役職	
氏名		役職	
氏名		役職	